

第3回社協地区部会分科会 議事録

平成23年11月26日(土) 9:30～

保健福祉センター4階 ボランティア活動室(1)

出席者 武・横山・野澤・香取・和田・猪野・大島・廣川・上川畑・江尻・尾出・小出・野村・景山
菊谷所長・並木所長・星崎主任主事・平木主任主事

開会挨拶 並木(配布資料説明)

桜木地区部会(小出)資料に沿って説明

(質疑・応答)

武 1ページ目、独自の活動の中で、寝たきり・独居高齢者、老人クラブや各施設などへ慰問金支給、訪問等が非常に多い感を受けるが、今後、高齢者が増えていく中で桜木地区部会として、高齢者スポーツ活動や高齢者・障がい者に対する慰問金支給は継続していけるのか。地区部会内で議論となったことはあるか。

小出 昨年論議し、高齢者が増えていくのは明らかとなっており、支給額をゼロにしてはという声も上がっている。

武 市の敬老祝い金を減らしていくという背景の中で考え方はあると思うが、地区部会のイメージアップの為に支給するという考え方は間違いでは。そうではなく活動で示すべきでは。ただ、慰問金支給の件に関しては将来的にもこの場の中で討議する必要がある。高齢者スポーツが盛んだが、これまではこのような活動で良かったのだが、高齢者が増えていく中で今後は見守り・支えあい活動にシフトしていかなければならないのでは。高齢者スポーツをやめるという事ではなく、元気な方はボランティア活動へ積極的に参加していただくような仕組みを作っていく必要がある。

和田 障害のある方への慰問金支給に関して、名簿を作成しようと考えているがどのように行っているのか。

小出 名簿は民生委員が把握しており、地区部会で検討し協力して実施している。

野澤 高齢者スポーツが盛んだというが、グランドゴルフぐらいしか目ぼしいものが見当たらないが、他には何か行っているのか。

小出 高齢者のグループで輪投げを行っている。先日も桜木小学校でも行った。

野澤 慰問金の支給に関して、名簿は民生委員で、訪問して慰問金を支給するのは地区部会関係者が行っているのか。

小出 地区部会関係者が行っている。

野澤 1度に4か所なのか、それとも年4回なのか。

小出 資料に沿って説明

武 社体活動が活発と聞いているが、広報誌でそのような記事が見当たらないのは。どこまでが社協の活動となっているのか区別が良くわからない。社体活動が活発という記事は全く見当たらない。会費納入の関係で市営・県営住宅が多いが、会費(地区部会)についての理解はどの程度か。年齢層が比較的若い、入れ替わりが激しい、地域に密着していないなど問題は多々あると思うが、市営・県営については何か他にも問題があるのでは。

小出 県住の中でも高齢者と若年層が半々というような感がある。活動に積極的な所とそうでない所があり、なかなか理解を得ることができない。自治会長が1年で交代するのも原因の1つと考えており、地域の体制作りにも問題があると考えている。

武 この問題は共通の問題として議論していく必要がある。

和田 小倉台も市営・県営があり世帯数の割に金額が少ない。なぜ少ないかというと、自治会の会員数が少ないのと、自治会の活動を運営していく費用がかかるので社協の会費に協力的ではない。

小出 会費の納入を増やしていくのは現状では難しい。

横山 東南地区では、民生委員にお願いし生活困窮者へ3,000円支給した時期がある。しかし、そのお金を生活の為に使うのではなく、遊興費に使ってしまうケースがあったため現在は実施していない。

武 各地区部会でも考えていく必要がある。

千城台東南・金親地区部会（横山）資料に沿って説明 （質疑・応答）

猪野 バス旅行の経費は参加者の負担。

横山 以前は社協で出していたが、今年度よりバス代がかかるようになり、バス料金は地区部会で支出しているが昼食代程度の負担（1,500円程度）をお願いしている。

猪野 決算でいうとどの部分にあたるのか。

横山 バスの料金が負担となったのは今年度（23年度）からなので、決算書には記載されていない。

和田 参加者への告知方法は。

横山 以前参加した方をメインに声掛けをしている。

和田 小倉と同じで活動範囲が広いが、タンポポ、だだちゃの会は自治会ごとの活動なのか。

横山 そうではなく、全地区で曜日、時間などを決めて活動している。

武 会費が比較的少ない自治会について、そのような場所の会費納入が増えればかなりの増額が見込めるのでは。

横山 団地といっても、持ち家・借家があるので、会費についての理解は様々。

武 賃貸の中でも納めている所はあるが。

横山 その自治会は自治会長が長く会長を続けている方で、会費についてはある程度理解を示している。

武 市営・県営の攻め方は今後会費納入にあたってのヒントとなりうるのでは。

野澤 ふれあい食事サービスは月4回実施しており、宅配となっているが、プロに作ってもらい宅配だけしているのか。

横山 美香苑にお弁当作成を依頼し、ボランティアの方が1戸ずつ配達・回収している。
問題として、留守だった場合、余った弁当の費用をどうするかというのがある。

野澤 対象はどのような方か。その費用は。

星崎 総会資料4ページ「ふれあい給食」について説明。
配食方法は、高齢者50人を4週に分けて実施。したがって1人がもらえるお弁当の回数は月1回。
50人が毎週もらえるわけではない。ただ、ボランティアは毎回活動し、費用は、利用者から300円を徴収し、社協が225円補助している。

和田 50数名となっているが正確には。

横山 正確な数字は把握していない。

大宮地区部会（上川畑）資料に沿って説明 （質疑・応答）

武 高齢者見守り活動の助成金についてどの位の額を出しているのか。

上川畑 各自治会、1回5,000円で年2回まで。活動内容については特に審査などしていない。
会費については、各自治会活動をすれば収めた会費が多少なり還元されるのである程度の理解はある。
ただ、このように会費を納めてもらうのに7～8年はかかった。

武 各自治会と連携しており、自治会の良いところを地区部会が引き出している。このような活動を広めていければよいのでは。一体感が感じられる。

見守り活動についても様々あり、地域性もあるが、見守り電話サービスや、新聞・宅急便などを利用した活動を、見守り活動としての見本とさせてもらい、事務局は、先進事例としてリスト（資料）を作成してもらいたい。

並木 活動の方法は様々な形があるが、情報を集めて地域性にあった取り組み方法を模索していき、情報提供をしていきたい。

並木 第2回地区部会分科会資料説明。

12月6日（火）、当初5地区部会を予定していたが、白井、御成台千城台西・北、更科地区部会、年明けの1月24日（火）に第5回、貝塚、みつわ台、美香苑、わかば泉の郷の発表をお願いしたい。

第3回若葉区地域福祉計画推進協議会全体会議事録

出席 武・大嶋・横山・石川・猪野・江尻・尾出・大島・香取・金子・上川畑・小出・田沼・野澤・野村
廣川・柳原・山内・和田

山口課長補佐、飯田室長、菊谷所長、並木所長、小谷課長補佐、辻川係長、星崎主任主事
堤主任主事、平木主任主事、中川主事

欠席 池野、大塚、和田（真）

武 各分科会活動中間報告について、自治会訪問について大嶋さんより報告をお願いしたい。

大嶋 前回、第2回の推進協全体会の中で、区の実施したアンケートで反応があった20団体位を抽出して、先行して訪問活動をした。次の段階として推進協の皆さんに提案し、ローテーションを組んで訪問活動をしたい、というような話をしたと思うが、今日までの間に若干の状況変化があった。

1つは、区長の意向として、地区連へ区の基本計画の説明をし、併せて私どもが地域福祉計画を説明している。すでに4つの地区連を実施しており、12月も4つの地区連訪問を予定している。

ただ、抽出した20の団体の内、ほとんどの団体に拒否され要望がない。理由として地区連で説明があるのに2回も聞く必要はないという意見があった。

その中で4自治会の訪問を行い、その内容についての報告をさせていただく。（資料に沿って説明）

武 貝塚北部自治会のように活動がしっかりしている自治会は、会長がしっかりしているのはもちろん、芯がしっかりしており、活動が円滑に行われている。

（自治会についての質疑応答）

なし

武 地区部会は13あるが、現在12の地区部会が参加しておりそれぞれヒアリングを行い、その内容を地区部会分科会の中で発表し、現在は8つの報告が済んでいる。

並木 社協としても問題把握ができておらず、地域でどのような課題を抱えているかを聞くことによって、地区部会分科会で発表の場を設け、課題克服に向け活動している。

（資料に沿って説明）

武 補足をさせてもらうと、会費納入額をご覧いただくと、納入額は活動の表れであり、自治会との連携が円滑に行われていないことを示している。

スケールメリットで考えると、大宮地区部会のヒアリングにおいて自治会の活動でよいと思われることをピックアップし、横に広げていき、自治会との連携がうまくいっていることがうかがえる。

見守り事業を始めるうえで、いろいろ調べたが、様々な形、アプローチの方法があり、先行事例の紹介だけでなく、資料として皆さんに提示していければと思う。

半数以上のヒアリングを終えて、課題・問題が浮き彫りになってきており、福祉・見守りに限らず、社協が今までいかに怠慢だったかの結果が出ている。地区部会から自治会へどのような働きかけをしていくかという視点で社協分科会は動いて行こうと考えている。

（地区部会についての質疑応答）

金子 自治会と地区部会の分科会を分けて活動しているなかで、ようやく軌道に乗ってきたかなという感がある。

資料の中で小倉の地区部会が年12回のサロン活動を行っているが、自治会が12ある中で各自治会が月1回のサロン活動をおこなっているのか。

和田 年2回は小倉台中央自治会館で行っているが、各自治会が1回ずつではない。

- 武 先程、社協分科会の中で市営・県営の会費が少ないという資料がある中で、原因として人の出入りが激しいなどがあり、なかなか話が伝わらないということだが、地区部会が自治会の在り方を提示するなど攻めなければならない。
- 山内 自治会分科会の中でも温度差があり、地区部会として、自治会として何をしていくかという方向で論議を進めないとうまくいかないのでは。
- 武 自治会から地区部会、地区部会から自治会というサイクルが確立されていないので今後の課題としていく必要がある。
- 菊谷 各分科会へ活動内容変更についての提案。(資料に沿って説明)
- 武 ただ今、菊谷所長から説明があったとおりに活動していくという事をお願いしたい。問題等があれば、各分科会の方で意見を出してください。
- 田沼 確認したいのだが、施設等との連携とはどのような事なのか。
- 大嶋 自治会との連携に限らず、施設にしるNPOにしる地域住民との関わりはあるはず。したがって、自分たちはこのようなつながりを持って活動しているという話をしてもらいたい。
- 田沼 地域でどのような地域干渉をしているかという情報が欲しいという事で良いか。
- 大嶋 NPOにしる市民活動をされている方にしろ、住民に対する活動はどのようなものかという情報が欲しい。
- 田沼 若葉区の中でボランティア団体、市民活動団体がどのような活動をしているのかという情報で良いのか。
- 大嶋 できるだけ具体的に教えてほしい。